特定小電力トランシーバー

DJ-R100D(L/S) L:ロングアンテナ S:ショートアンテナ 簡易マニュアル

同時通話用チャンネル設定

アンテナ
アンテナは外れません。

PTT(送信)ボタン
1 度押すと送信状態になり、もう1度押すと送信状態が解除されます。

[フック(A/B)]キー
同時通話(電話タイプ)で応答する際に押します。周波数帯(A/B)切替の際にも使用します。

[パワー]キー
約1秒間長押しして電源を ON/OFF します。

[ファンクション]キー
各種機能設定を設定するときに使用します。
※約 2 秒押すとキーロック(誤操作防止設定)を設定できます。 解除する場合も約 2 秒長押し。

イヤホン/マイク端子
イヤホンマイクやスピーカーマイクを接続する端子です。

ダイヤル
[チャンネル(音量、グループ、セット)]キー
ダイヤルを回してチャンネルを合わせるときに使用します。音量、グループ番号の設定にも使用します。

DC-IN
外部電源接続端子です。

[モニター(モード)]キー
[スキャン]キー
相手の音声が途切れるときに使用します。
約2秒間押すとスキャンを開始します。

[グループ]キー
[スクランブル]キー
グループトーク機能や秘話機能に使用します。

設定状態がわからなくなったときは・・・
簡易リセット(初期化)をする。
① [パワー]キーを長押しして電源を切ります。
② [ファンクション]キーを押しながら電源を入れます。
③ ディスプレイが全て点灯中に[ファンクション]キーを離すと、簡易リセット(初期化)します。

同時通話モードの設定方法。
① [ファンクション]キーを 1 回押します。
② [モニター]キーを 1 回押します。
⇒ディスプレイ左側の数字“1”が点滅します。
➡“1”の場合だと交互通話モードです。
③ ダイヤルを回して数字を“2”に変更して送信ボタンを押して設定を完了します。
➡“2”の場合だと同時通話モードです。

3 分間の通話制限を解除したい・・・
同時通話時の 3 分間以上の連続送信設定をする。

≪各種セットモードの設定≫

① [ファンクション]キーを 1 回押します。
　⇒ディスプレイ左上部にファンクションマーク(F)が点灯します。
② Fが点灯中にダイヤルを 2 回押します。
　⇒ディスプレイに『Pow-Hi』と表示されます。
③ ダイヤルを回して『Pow-Lo』に設定します。
　⇒3 分間制限解除の為送信出力を 10mW から 1mW に切り替えます。
④ 更にダイヤルを 18 回押します。
　⇒ディスプレイに『oFF AF. LooP』と表示されます。
⑤ ダイヤルを回して『on AF. LooP』に設定します。
　⇒第三者が会話を聞くことができるガイダンス設定です。
⑥ 更にダイヤルを 3 回押します。
　⇒ディスプレイに『oFF Pt.t HLd』と表示されます。
⑦ ダイヤルを回して『on Pt.t HLd』に設定します。
　⇒本体左横の PTT(送信)ボタンを 1 回押すと連続送信、もう一度押すと受信状態に戻る設定です。
⑧ 設定が完了したら本体左横の PTT(送信)ボタンを 1 回押します。
　⇒設定を終了します。

≪チャンネル設定≫

① ダイヤルを回して同時通話用 b(ビジネス)チャンネルの〈b 1.2〉～〈b 2.9〉に設定します。
　⇒3 分間以上の連続送信が可能となります。
　※L(レジャー)チャンネルでは連続送信できません。
② [FUNC]キーを長押ししてキーロックをかけます。
　⇒ボタン誤操作を防ぐことができます。

DJ-R100D を中継器(交互通話用)として使用する。

① [ファンクション]キーを 1 回押します。
② [モニター]キーを 1 回押します。
③ ダイヤルを回してディスプレイ左側の数字を“5”に変更し、
　送信ボタンを押して設定を完了します。
④ ダイヤルを回して子機と同じチャンネル、グループに設定します。
⑤ [ファンクション]キーを 1 回押して、[A/B]キーを押し、A/B いずれかを選択します。

※周波数帯は子機と逆に設定する必要があります。中継器が A ならば子機を B に、中継器が B ならば子機を A に設定します。
※中継器からも受信音が聞こえます。必要に応じて音量レベルを調整してください。

同時通話を使用する際のご注意

・同時通話使用時には本機に対応するイヤホンマイクまたはイヤホンが必要となります。
　⇒ハウリング防止の為です。